

# 文芸部雑記

陶 易 王

執筆の拝命を受けたが文芸部員とは名ばかり、何も貢献していないので少々困惑。送られてきた今年の文芸特集号の内容を見ると、随想9、評論4、詩歌4、創作3、戯曲1、総頁数198頁。内容はまだよく拝読していないが、中々のものである。数年前の合評会で「創作は題材を容易に医学関係のものから選ばない方

がいい」と言われた。筆者もそう思うが、青白き文学青年ばかりではないから、純文字でなくどうしても題材は、医療関係のものになってしま

う。  
一 昨年のこの欄に藤倉先生が「ドン・キホーテの意気込みを」と書かれたが同感である。だが我がセルバン

## マーニッシュユになろう

テスは老いた。気力も体力も昔同様には望めない。

私事ではあるが今夏次兄が他界し、それから風邪を引く度に喘息発作が起きて腰痛も併発し、鬱病の状態になってしまった。躁鬱病の傾向があったゲーテは、鬱の時間を早く脱却せねば作品が書けないと悩んだ様である。

マーニッシュユになろう。そして作品をものにしよう。

21世紀は大戦は収まったが、テロが多発して騒然としている。

テロは昔からあった。昭和10年頃、上海で映画館に行くと、父は座席の下を一々改めて爆弾がないかを確かめていた。丁度その頃、中

国公使の重光氏が爆弾テロで足を吹き飛ばされた事件があった。テロは昔からあった。

そしてそれには、それなりの理由があったのである。理由を考えずにテロ撲滅と騒ぐのは、本末転倒である。

911テロに対する報復で、イラクやアフガニスタンを爆撃で焦土にしたアメリカは、そんな反省はなさそうである。



## 総会にお出かけ下さい

部会を開きます

20年度を総括し、新年度の方向を見定める新年会を兼ねての総会を開きます。本誌1面にもありますよう

し、部によっては、その辺が不十分で21年度はどうなるのか、不安を残しました。

に大事な会議です。大勢の参加をお待ちしています。

そこで、各部会で話し合つて 展覧会や音楽会などの参加者募集から始まり、必要な目録やプログラム、DMはがきの作成、参加費の決定や徴収など

開会の前半(30分ほど)は各部会にします。皆さまの力強い協力で、今年度の各イベントは無事終了しました。部によっては、催しの最終日に懇親会を開き、親睦と同時に来期への見通しを話し合いました。しか

でか、見極めてください。事務局へのかかわりはどこまでか、見極めてください。

事務局の  
年末年始  
12月27日  
~1月4日まで  
正月休みです。

新年は5日から開きますが、事務室を無償提供くださっている白矢医院が7日まで休院のため、その間は

11:00~15:00まで。ご用の方は、その時間帯に電話あるいはFAXやメールで、用件を連絡して下さい。不在の場合は留守録に、お名前だけでも。

8日以降は10:00~17:00土曜日は原則として休日とします。

そのうえで、クラブ全体としてのあり方について、意見を申し合ひましょう。

在籍40年以上の会員もおられます。参加していることが楽しい会であるようにしましょう。

事務局では現在、前年度と今年度の納入状況を洗い直しています。ミスが見つかった場合は、その要旨を記載し本誌に同封します。

### 会費納入に関連して

新年度の年会費8000円を集めますが、20年度の未納の方は、その折、一括して納入してください。

会費の100%完納自ざして、ご協力をお願いします。

事務局の不手際から、一部の方へは請求書が届かずそのままになっていたり、逆に二重請求で不愉快な思

ご寄附

5万円〃石塚良雄(美術部) 3万4千円〃二宮文乃(書道部) 1万円〃大森湜子・山崎律子(邦楽部)

有難うございました。

「年賀広告」のご協力お願い

右の枠が実物大です。右肩に新年の抱負や短歌、俳句、川柳などを。左側は差支えがなければ、住所かまたは電話番号。口数を添えて、別紙に記入のうえ、お申し込みください。

1口 2,000円 です  
(できれば2口、費用は掲載後請求いたします)

新年のご挨拶を兼ねた年賀広告をお願いします

所属部  
お名前を



本年度の各部の  
催しは無事終了  
記録は次号に掲載  
HPをご覧ください

賑わう邦楽祭の楽屋  
書道部懇親会



オーケストをバックに  
歌う松木委員



- 新入会員( ) 紹介者
- 吉元 昭治 〒187・000
  - 02 東京都小平市花小金井1・21・3 (内科)
  - 文芸、写真
  - 白矢 智靖 〒187・000
  - 41 東京都小平市美園町1・4・12 (眼科) 写真
  - 白矢 泰三 〒673・008
  - 77 兵庫県明石市人丸町4・13 (歯科) 写真
- (お二人とも白矢勝一氏)



写真展の審査風景

## 透視像

首相の誤読 太田 伶

麻生首相の誤読が問題になっている。

KYとは空気を読めないとのことだが、漢字読めないとなるとも言われ、「盛り上がりがない忘年会とかけて麻生首相と解く。心は幹事(かんじ)が駄目です」などの秀逸な「物は付け」まで作られている。踏襲をフシユウは踏が踏むだから、その誤読は微笑ましくさえあるが、ならばかつての名画「舞踏会の手帖」を首相に読ませたらマイクカイの手帖となるかどうか、「ご本人はつつかりミスだと恬淡としておられるが、頻繁(ひんぱん)を煩雑(はんざつ)と読んだり誤読も頻繁になると、やはり漢字に弱いと結論せざるを得ない。

このことは漫画オタクに起因するものである。昔、文芸春秋から漫画読本という雑誌が出版されて、私も愛読したものだ、その頃の漫画と今の漫画は異質

のものである。今の漫画は劇画のことで、平たく言えば紙芝居である。紙芝居は子供の見るもので、大の男が電車の中でコミック雑誌に夢中になっているのを見ると、その人の中味はかなり薄いのではないかと勘ぐりたくもなる。だから、秋葉原の駅頭で若者を前にして、漫画オタクの麻生ですと公言するなど、私は諸君達と同じく頭が空っぽですよと言っているようなものではないか。漫画は日本の文化ですなどは言語道断、むしろ漫画はかり読まないで少しは書物を読み給えといふべきであろう。

劇画では文字は二の次、しかも漢字は無用、エツとかアラとか方カナで十分したが、つてこの手のものばかり見ていると漢字から縁遠くなるのは必然の結果である。確かに指南本のような実用書では文字より画の方が解りやすい。しかし、文化の視点では劇画より文章のほうが文化の香りがはるかに高いではないか。とは言つものの、「三丁目の夕日」のような

日本映画の秀作の原作が、実は劇画であるという事実を知ると、わが筆先も俄かに鈍るのである。

### 編集後記

編集部( )

加藤周一氏が亡くなりました。同氏は医家芸術とも深くかかわりのあった方。ご冥福を祈ります。

今年の本の売れ筋は、自己開発を勧めるノウ・ハウ本だったそうです。「夢をかなえるゾウ」とか、血液型の分析本。異色は小林多喜二の『蟹工船』がブーム。ワキキング・プアの世相を反映とか。

こういう状況下で文芸特集号を今年も出せました。執筆された諸先生に感謝します。新に確井静照(あきしず)広島県医師会長と安彦洋一郎先生が加わってくれました。お二人とも文特号は初だと思いますが、すでに誌上ではお馴染みです。来年は「医家随想」ご常連の皆さんが、多数参加してくれることを望みます。

## 2009年(平成21)「医家芸術」の刊行予定

号 (通巻号数)	発行予定日	締め切り
冬季号(593)	1月26日	1月8日
春季号(594)	4月24日	4月6日
夏季号(595)	7月28日	7月8日
秋季号(596)	10月26日	10月8日
文芸特集号(597)	12月中旬	10月中旬

20年度秋の各部の催しは、冬季号に掲載します。なおホームページには、本誌よりも多数掲載しております。<http://ika-geijyutsu.jp>

### 同 各部の催し(予定を含む)

美術部・書道部 9月28日(月)～10月4日(日)  
東京銀座画廊・美術館 ABC室

写真部 11月19日(木)～25日(水)

HCLフォトギャラリー新宿御苑

洋楽部 10月11日(日)音楽の友ホール(神楽坂)  
11月1日(日)溝口(川崎市)

邦楽部 11月23日(祝)三越劇場(予定)

従来5月に行われていました「美術展」は、各部合同の総合展を企画して秋にずらし、書道展も同一会期に開きます。できることなら写真部の作品も一部参加を……と期待しています。

洋楽部はオーケストラ会場と、その他とに分かれます。

邦楽部は、春頃までに隔年開催を含め最終決定します。

### 医家芸術 第592号

平成20年12月12日印刷 12月16日発行

編集兼発行人 太田 怜

発行所(事務局) 〒187-0041 東京都小平市美園町1-4-12

白矢眼科医院内 日本医家芸術クラブ

電話 042-344-8056 FAX 042-344-0879

印刷所 東京都杉並区和田1-14-13 共立印刷株式会社